

今日も「見守り活動」していますよ

協力者を10人増やして 30人体制にしたい



毎日、見守り活動をしている松ヶ台東区の仲良し4人組み

新潟で再び起きた小2女児殺害事件、子どもを犯罪からどう守っているかを松ヶ台東区の「子ども見守り活動」について区長の江中正之さんに取材させていただきました。

やまだの風

平成30年7月25日
第44号
山田校区コミュニティ
運営協議会
会長 中村 重夫
282-5767

松ヶ台東区の児童数は、歩いて通学している児童は150人ぐらいで、バス通学が100人ぐらい、残りは車で送り迎えです。
見守りの支援体制はどのようになっていますか。
3グループ編成で、配置は各グループにお任せしています。
現在、見守り活動に参加されている人は何名ですか。
見守り隊は20人です、立上げ当初は33人でしたが、29年には25人となり、現在は20人です。一部の人に負担が生じて、体調を崩されてやめて行かれる方が多いですね。今のメンバーは「自分の住んでいる地域



課題を抱えている江中区長

の役に立ちたい」と言う考えの方ばかりで、感謝しています。
見守りか所は何か所ですか。今はバス通り沿いの3か所です。
見守りのローテーションもかなり早いですね。
そうですね、多い人で3日に1回立ってもらっています。
中には毎日立っていただいている方もかなりいらっしゃいますよ、本当に頭がさがります。
現在、見守りをされている方の負担を軽減するには、協力者があと何名ぐらい必要だと考えていますか。
そうですね、あと10人増えて30人体制が維持出来れば、見守りも週一ぐらいになり、かなり負担が軽減されます。協力者集めが大きな課題です。



交通量の多い交差点での見守り



(有) 岡垣自動車

岡垣自動車整備工場 TEL 282-0808

自動車ショールーム TEL 282-3500

オイル交換等気軽にお立ち寄り下さい

特産「高倉びわ」を紙芝居で学ぶ

6月4日、山田小学校で、岡垣の特産「高倉びわ」にまつわる歴史と成長過程を学ぶ「びわ教室」が開かれました。今年4年目となるこの教室を行っているのは山田校区コミュニティ安全・安心部会の白武眞理子さんらが結成した「ささやかチーム」3人が（端野 知恵さん・吉田 純子さん）1年かけて手作りした紙芝居を携えて毎年行っているものです。今年も4年生3クラスの児童が授業を受けました。



袋かぶせの実演をする吉田純子さん

この「びわ教室」は前半が吉田純子さんの講話で、びわの起源から岡垣町の特産品になるまでの過程と「びわ」の袋かぶせの変遷や実演・苦労話などを語りました。その後、白武眞理子さんが手作りの大型紙芝居で、児童達に優しく語りかけました。児童たちも興味深く聞き入っていました。

た。児童たちから沢山の感想文をいただきましたのでその一部を紹介いたします。

4年2組 井土ひなたさん

びわのお話や紙しばいでいろいろなことを教えてください。



左から熊川先生・吉田さん・白武さん

4年2組 尾林つばさ君

ありがとうございます。私は家でびわを育てています。なので知っている部分もあると思いますが、聞きながら聞いてみると私の知らないことがたくさんありました。大きいびわのことがよくわかってよかったです。

びわのお話や紙しばいで、びわの種類やびわぶくろの昔から今までの変化などがいろいろわかってよかったです。とくにきょうみをもったのは、びわぶくろです。はじめはのりづけ、むすぶハリガネからモールそのあとはふくろについてくるなど昔からいろいろ工夫がかさねられてきてすごいなと思いました。

4年2組 迫中ゆめさん

びわについて教えてください。ありがとうございます。びわのしゅるいには、田中、もぎ、のほかにあることを学びました。紙しばいは、びわりん・びわすけになりきってかたつてくださりとてもわかりやすかったです。

4年1組 有村李音さん

私はびわの話聞いて一番お

どろいたのは、びわは中国で生まれ、日本の長さにきて、昔の岡垣の人が長さまで歩いて持って持ち帰ってきたのがはじまりで、岡垣でもびわが食べられるようになったということを知りました。おとなになったらびわを作りたいと思いました。

4年1組 平竹史弥君

僕は、びわといえば高倉びわしか知りませんでした。でも話を聞いて、田中、もぎというびわのしゅるいがあることを知りました。それに、びわを作っている人が少なくなっているのを知り、びわがたべられなくなるのではないかとしんばいします。びわを作ってくれる人がまた



校庭の隅にあるびわにふれて喜ぶ児童

4年3組 中葉太二君

ふえることをねがっています。

びわのお話で、びわのしゅるいや味などについて学びました。びわの葉は、お茶にもなるし、葉の上のゆでたこんにやくをのせて体のいたるところにのせるといたみがやわらぐと聞いておどろきました。びわはただ食べられるだけでなくたくさん役にたちます。

4年3組 森 敬祐君

びわについてお話を聞きました。岡垣のびわには3種類があって、もぎは甘くて、湯川は少し甘くて、田中はすっぱいということです。びわのふくろはすこく進化しました。びわの葉は風呂に入れるとびわぶろになるらしいです。

4年3組 首藤りおなさん

おかがき町には3しゅるいのびわがあります。田中、もぎ、ゆがわの3しゅるいです。昔のふくろは新聞紙でできていて、つぎに茶色のふくろで、今はふくろにひもがついていて、とめやすいし、虫はいらないそうです。かんたんになりました。

陶芸歴40年・貝殻収集10年 緑ヶ丘区のすごすぎる遊び名人



堀 隆吉 さん

今回は緑ヶ丘区公民館長をされている、自称「遊び名人」の堀隆吉さんをお訪ねしました。まず、ビックリしたのは大作と呼ばれるような陶器の作品がごろごろあることでした。

遊び名人 陶芸で遊ぶ

— 陶芸を始めたきっかけは。35年ぐらい前「さつきの盆栽」がブームでした。私もさつきを百鉢ぐらい持っていました。



高さ40センチの見事な壺



堀 隆吉さんの作品群

そのうちさつきに負けないうちの良い植木鉢が欲しいと思うようになった事で植木鉢作りを始めました。それから、だんだん陶芸もやるようになりました。今日まで40年、手掛けた作品は優に500点を越えます。自宅にも300点ぐらいあります。

— 陶芸の難しいところは。

「陶芸は土こね3年かかる」と言われています。空気が入ると焼き物が膨張して割れてしまうからです、それゆえ空気をみだすのが難しい。

— おもしろいところは。作品のイメージに合った土を

選別すること。土もいろいろありまして、焼いたら赤くなったり、黒くなったり、白くなったりするのでおもしろいかな。釉薬を自分で調整したり、わらを敷いて焼いたりもしました。ちょっととした工夫で楽しめるところが良いです。

昔は、陶芸をやる人は、山に土を取りに行ったり、窯元まで行って、話を聞いたり、見たりしたことを持ち帰って、実際に

趣味 多芸



岡垣では大変珍しい貝蛸と葵貝

やっています。今は昔みたいに体力がないので大作には挑戦出来ませんが岡垣の愛陶会に所属していますので、毎年文化祭には3点ぐらい出品しています。

遊び名人 貝殻で遊ぶ

また、堀さんと言えば遠賀、中間地域で貝殻の収集家としても名を馳せた方です。

平成20年頃から、波津海岸での貝殻収集を始め、全国の海岸や砂浜を歩いて、10年かけて収集した貝は3000個を超えたそうです。

— 貝殻収集を始めたきっかけは何ですか。

子どもと波津海岸で遊んで砂浜で貝を拾っても名前を知らないうちに、教えてあげられなかった



堀さんが作成した貝殻図鑑

からです。「遊び名人」の探究心が騒ぎだしたわけですね。それから、休みの時はひたすら海岸を歩いて貝を拾い集めました。平成26年10月にフルカラーで78ページにも及ぶ「うづら浜で拾った貝殻図鑑」を完成させました。

地域の図書館から、特別展示コーナーとして、収集した貝殻の貸し出し依頼があるそうです。平成25年4月波津海岸で捕獲した貝蛸を水槽に入れて「貝蛸と葵貝」の生態を独自に観察・研究し、分かりやすく解説した図鑑も作成しました。

遊び名人 子どもと遊ぶ

堀さんは「文化財の会岡垣」のメンバーで、その多才な才能を生かして子どもたちにいろいろなことを指導しています。

6月には吉木小学校3年生児童に「勾玉」づくりを教えたそうです。毎年12月には、交流センターで岡垣町に伝わるしめ飾りづくりを指導。今年も現代風の新しいしめ飾りに挑戦するそうです。ボランティアは人とのふれあいと子どもたちの笑顔に会えるのがいいと語りました。